

定例公安委員会の開催状況について

令和7年12月11日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 少年の非行及び犯罪被害防止に向けた取組について

少年の非行及び犯罪被害防止に向けた取組について報告があった。

委員から、警察本部長が高校生に対して直接講話するなど、警察が、少年の非行、犯罪被害防止の取組を重視している姿勢を強く感じる旨の発言があったほか、関係機関と連携し、引き続き効果的な広報啓発活動等に取り組み、成果を上げていただきたい旨の発言があった。

委員から、SNSに起因する犯罪被害では、当事者の少年が、意図せず犯罪に巻き込まれてしまうケースもあると思料する。少年への予防教育と相談体制の充実に加え、地域社会全体で被害を防止する活動を展開していただきたい旨の発言があった。

委員から、あらゆる機会を捉え、少年が犯罪の被害者にならない、少年を犯罪の加害者にさせない活動に尽力していただきたい旨の発言があった。

(2) 「老老介護」事件の現状について

「老老介護」事件の現状について報告があった。

委員から、高齢化社会が進む我が国では、介護疲れ等を背景とする事件がみられるところ、この種事件を取り扱う警察の目線で傾向等を分析することは意味があると思う。是非対策等に役立て、事件の未然防止につなげていただきたい旨の発言があった。

委員から、地域包括支援センターをはじめとする高齢者支援機関等と連携し、更なる分析を重ね、事件抑止に資する効果的な対策につなげていただきたい旨の発言があった。

委員から、現状の分析を踏まえ、巡回連絡等の高齢者と関わる活動を通じて端緒情報を早期に把握し、関係する行政機関とも連携しながら、事件の未然防止が図られることを期待したい旨の発言があった。

(3) 「社会に根付く通学路安全対策」の取組状況について

「社会に根付く通学路安全対策」の取組状況について報告があった。

委員から、通学路の安全対策は、警察署協議会においてもよく話題に挙がるテーマであり、地域住民の関心は高い。学校、道路管理者と密に連携し、引き続き安全の確保に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、警察、学校及び道路管理者による通学路の安全点検活動は、子供のみならず、地域住民の交通安全にも大きく寄与してきた取組であり、関係者に敬意を表したい旨の発言があったほか、道路事情は、学校の統廃合や交通インフラの整備等、様々な要因で変化することを念頭に置きながら、引き続き適宜、適切な対策を講じていただきたい旨の発言があった。

委員から、通学路の道路事情は、時間帯や天候、季節等々、様々な条件により変化するため、現場の状況を熟知する地元住民の意見によく耳を傾け、対策等に

反映していただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 審査請求に係る弁明について
警察本部から、審査請求に係る弁明についての説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞の結果について説明を受け、決定した。
- 監察案件について
警察本部から、監察案件について報告があった。